



どこに使える場所があるの？
どうすれば使えるの？



メンバー集めはどうする？
知識が足りないかも…
物品やお金はどうしよう…



地域の人たちに
受け入れてもらうには？
活動をどうPRしよう？

地域で拠点活動を始めたい人

拠点活動を立ち上げから支えたい自治体等の人

のためのヒント集



はじめに このパンフレットのねらい

まちなかには、「地域共生社会」の実現にむけた、様々な拠点における住民主体の活動（以下「拠点活動」）が展開されています。このパンフレットは、これから拠点活動を始めたい人（以下「活動者」）に向けて、「どのように拠点活動を立ち上げるか」のヒントを事例を交えつつ紹介するものです。

また、拠点活動には「支援する人」の存在があります。運営に直接参加する人もいれば、直接参加ではない形で支援をする人もいます。ここでは、拠点活動を支える主体の1つである自治体・社会福祉協議会・地域包括支援センター（以下「支援者」）の方々が「どのように拠点活動を支援するか」のヒントも紹介します。

「拠点活動を始めたい」住民の方、「拠点活動を立ち上げから支えたい」自治体等の方に手に取っていただき、新たな拠点活動の一助になれば幸いです。

*このパンフレットは、関東信越厚生局管内（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）を対象に実施したアンケート調査やヒアリング調査の結果から作成したものです。

*以降のページでは、「社会福祉協議会」を「社協」、「地域包括支援センター」を「包括」と表記します。

? 地域共生社会って？

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をいいます。

もくじ

1. 拠点活動の立ち上げにはどんな準備が必要？	2
2. 活動者の方へ 活動立ち上げのヒント	4
その1：活動拠点を確保しよう！	4
その2：活動を続けるための体制をつくろう！～人・ノウハウ・もの・お金～	7
その3：地域とつながろう！	13
活動をイメージするための参考資料「拠点活動ことはじめシート」	16
3. 支援者の方へ 活動支援のヒント	18



1. 拠点活動の立ち上げにはどんな準備が必要？

拠点活動の立ち上げには、以下のような準備が必要になります。それぞれの場面で、活動者自らが汗をかいたり、支援者が支えたり、また、時には来た道に戻ったりもしながら、活動は展開していきます。

その1

活動拠点の確保

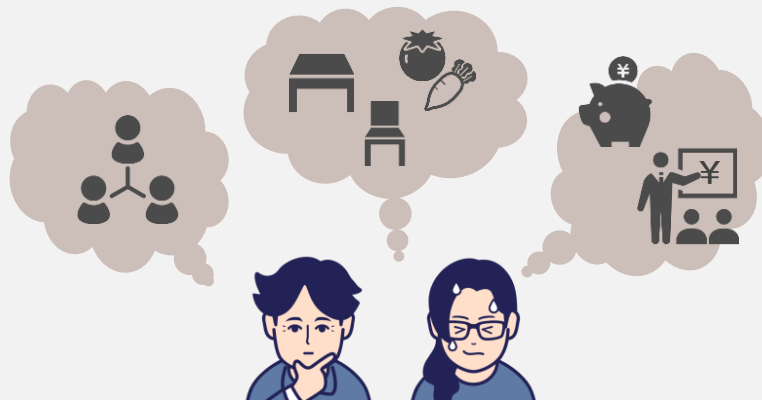
場所探し # 場所の確保



その2

活動を続けるための体制づくり

メンバー集め # 物品の確保
知識・技術習得 # 活動資金づくり



その3

地域とのつながり

情報発信 # 地域への働きかけ

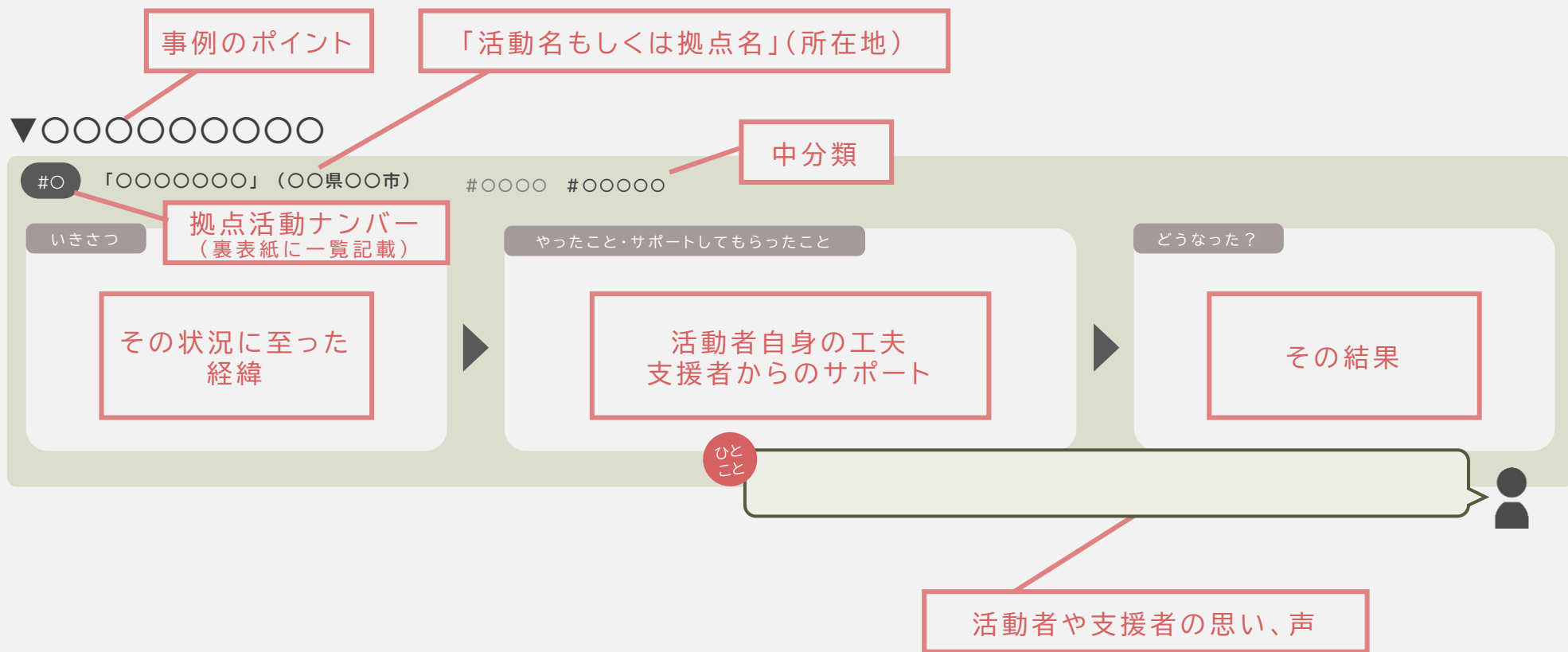


これらをひっくるめた「活動イメージ」づくり

→参考 p16, 17

次からは、具体的な事例を見ていきましょう。

事例の読み方



2. 活動者の方へ 活動立ち上げのヒント

その1

活動拠点を確保しよう！



地域のどんなところに、使える拠点があるんだろう？
使いたい拠点のイメージはあるけど、誰にどう相談すればいいんだろう？
などなど…

▼社協が活動者と拠点所有者双方の思いを汲むことで、空き店舗を確保

#11 「まちの駅『ふじや』」(長野県箕輪町)

いきさつ

中高校生たちが気軽に集まれる新しい居場所をつくれないうか。
高校近くの空き店舗は使えないかな？
社協の地域福祉コーディネーターに相談した。

場所探し # 場所の確保

やったこと・サポートしてもらったこと

空き店舗の所有者は、
過去に社協が個別支援をした方。
その方には空き店舗を「地域のために活用したい」という思いがあった。

→町の社協がその思いを汲み、所有者に依頼



どうなった？

社協の依頼の結果、
空き店舗を借り受け！
店舗時代の屋号から拠点を「ふじや」と命名。

*10年以上使用されていなかった空き店舗の片付けでは、町の高校のボランティア部が大活躍！



ひとこと

町みんなが交流して、相談したり気づきを得たり、つないでいたり…思いが集まった場所にしたいと考えていました。(活動代表者)



▼自治体による庁内調整を通じて、公的施設を利活用

#8 「平塚市豊田地区町内福祉村」(神奈川県平塚市) #場所探し #場所の確保

いきさつ

まずは拠点の確保が必要！
だけど、公民館は手狭、地域には
借家や空き家もなく困った…。
ある日、活動代表者が**自宅近所の
豊田分庁舎(旧幼稚園)**に
活動に利用できそうな場所を発見！

やったこと・サポートしてもらったこと

活動代表者から、事業を担当
している市の福祉総務課に、
**豊田分庁舎の一室を
使わせてもらえないか相談。**



どうなった？

市の福祉総務課と施設の
所管部署との調整の結果、
拠点として借りられることに！
隣の部屋は放課後児童クラブ。
日常的に多世代交流が生まれている。



ひとこと

豊田分庁舎(旧幼稚園)には子育て支援センター等が入っており、また周囲には公民館もありません。色々な資源が集まっているこの場所がいいなと思いました。(活動代表者)

▼活動PRをしつつ、人と人とのつながりで空き家を確保

#4 「BABA lab さいたま工房」(埼玉県さいたま市) #場所探し #場所の確保

いきさつ

シニアの活躍・交流の場を作りたい！
でも、場所はない。
まずは自宅を使うも、家族もいる…
活動拠点となる**空き家**を
貸してくれる人が
地域にいないだろうか？

やったこと・サポートしてもらったこと

活動を始めたばかりであったことから、
**「活動のPR」も兼ねて、
「空き家募集」のチラシ**を自前で作成し、配布した。

どうなった？

チラシが色々な人の手に渡り…
**「この人だったら貸してくれるん
じゃない？」という情報をゲット！**
交渉の末、一軒家を「工房」として
借りることができた。



ひとこと

人と人とのつながりで活動を広げたい思いがありました。前職で、コミュニティビジネス*の支援をしていた経験からも、「空き家を使う」イメージにつながりました。(活動代表者)

*コミュニティビジネス・・・地域の課題を、地域の資源を活用しながら、ビジネスの手法により解決に取り組むもの

▼民生委員(活動代表者)が所有者に依頼し遊休農地を借り受け

#1 「おしゃべり農園」(栃木県那須烏山市)

いきさつ

「地域でみんなが気軽に集い、何かできる場がほしい」という民生委員の思いから、自治会役員、班長、有志メンバーで情報交換会を開催。キックオフイベントのあと、「そこら中にある遊休農地を使い、何か作ろう!」ということに。

場所探し # 場所の確保

やったこと・サポートしてもらったこと

当時の活動代表者も、みんなが集まりやすい場所で活動したいと思っていた。

そうした中、**地区の中心部に、場所も広さもちょうどよい遊休農地**を発見。そこで、所有者に農地を貸してもらえないか依頼。

どうなった?

所有者は高齢で、ご自身ではもう農作物を作っていなかったことから**無料での利用を快諾**してもらえた! 今では農作物の売り上げもあるので、少しずつでも**土地代としてお礼ができないか**と考えている。



ひとこと

みんなでわいわい活動しても周りの人の迷惑にならない、いい場所にありました。いい土地で、野菜作りにうってつけでした。(当時の活動代表者)

番外編

活動拠点は「リアルな場」だけじゃない! コロナ禍ならではのコミュニティづくりのヒント

#5 「コミュニティカフェ『茶論』」(千葉県柏市)

これまで順調に活動してきたが、**コロナ禍で活動参加者が減少**。カフェスタッフのシフトが組めない。感染対策は十分にしているが、家族からの反対もあるようだ…。

リモートによるコミュニティづくりに取り組み。高齢者にとっては難しいテーマかもしれないが、コロナの中では、リモートもやらないといけない!(活動者)

オンラインが得意な人が**リーダー**となりメンバーを手助け。10人ほどのグループができたがもっと参加者を増やしたい。



ひとこと

市の中でも、「リモートでのコミュニティづくりといったら沼南地区だよな!」と言われるようになりたいなと思います。(活動者)

2. 活動者の方へ 活動立ち上げのヒント

その2 活動を続けるための体制をつくろう！～人・ノウハウ・もの・お金～



運営仲間やメンバーをどうやって集めよう？
やりたいことはなんとなく決まったけど、専門知識が足りないかも…！？
活動するためには、こまごました物品も必要だなあ…
続けるためにはお金も必要。補助金の他にも方法があるかな？

などなど…

▼社協が町じゅうに声掛け 地域の多主体による「実行委員会」形式での運営

#11 「まちの駅『ふじや』」(長野県箕輪町)

いきさつ

活動のきっかけは、高校生の居場所づくり。
でも、そこにいるみんなが
幸せにならないといけないし、
まちのことを「自分ごと」に
してほしかった。

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり

やったこと・サポートしてもらったこと

町の多主体が参加し、来れる時に来る
ゆるやかなつながりの「実行委員会」
形式による運営を検討。
町の地域福祉コーディネーターが、区長、町会長、
地域おこし協力隊、商店街の人、キャリア教育コーディネーターをはじめ、町じゅうに声掛け。

どうなった？

メンバーはどんどん増加！
町に支店を構える民間企業からも、
チラシの配布を通じて
「ふじや」をPRしてもらったり、
子ども食堂に必要な食材を
寄付してもらえるようになった。

ひとこと

元々箕輪町で生まれ育ち、今も住んでいるので、そこら中に知り合いがいます。自分でやるより、人に頼んだ方が早いです。(箕輪町社協職員)



▼活動代表者が知り合いの知り合いをたどり、「元教員」の力を借りる

#8 「平塚市豊田地区町内福祉村」(神奈川県平塚市) #メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり

いきさつ

活動拠点である豊田分庁舎は、多世代の人に利用されている。そこで、福祉村の新たな活動として、**小学1～6年生を対象とした学習支援**を実施することに。

やったこと・サポートしてもらったこと

地域の元教員の人とつながりたかったが、**個人情報保護の関係で「この人は元教員」という情報がなかなか得られず、困った!**
活動代表者の知り合いの知り合いの…とツテを辿り、**世間話をしながら「実は元教員で…」**という話を引き出していった。

どうなった?

小学校の元教員を中心に、**11名の講師を集めることができた!**
月に2回、国語・算数・英語を中心に活動している。



ひとこと

ボランティアが基本なので、1人に負担が偏らないようにするのは大切です。「自分が自分が」ではなく、「みんなでおみこし担ごうよ」という意識でいます。(活動代表者)

▼同じ活動拠点で運営する福祉作業所の職員と利用者も運営メンバーの一員に

#6 「美まもりやまカフェ」(東京都世田谷区) #メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり

いきさつ

美まもりやまカフェでは、社協の地域福祉推進員及び地区サポーター(ボランティア)がスタッフを務める。開催拠点である「まもりやまテラス」は**福祉作業所「まもりやま工房」や保育園、地区会館のある複合施設**。

やったこと・サポートしてもらったこと

福祉作業所「まもりやま工房」では、職員と利用者が焙煎珈琲と焼き菓子を作り販売している。
美まもりやまカフェでも販売してもらったら、「まもりやま工房」の応援にもなる?と思い、販売することに。

どうなった?

焙煎珈琲と焼き菓子は美まもりやまカフェの参加者からも好評!
工房の職員と利用者も、美まもりやまカフェのスタッフとして一緒に**美まもりやまカフェを盛り上げて**いる。



ひとこと

今年は美まもりやまカフェの参加者と工房の利用者さんとが一緒にポッチャ、太極拳を楽しむイベントを開催しました。これからも地域の繋がりを障害の有無に関係なく広げたいと思います。(社協職員)

▼農協や役場、そして地域の高齢者から農業のノウハウをもらう

#12 「遊休農地を活用した取り組み」(長野県王滝村)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり



いきさつ

高齢者の活躍の場づくりとして、社協が音頭を取り、村の遊休農地を活用した花畑・かぶづくりを開始。だが、休耕田をおこすことからのスタートで、農業のノウハウが必要だった。

やったこと・サポートしてもらったこと

取組を検討する協議体*の場に、**村役場の農業系の担当者も参加**しており、地元の**農協とも協力関係**を築いていた。
農協や役場が企画する、**かぶ栽培や耕耘機の講習会**に参加。

どうなった？

村の高齢者、村役場職員、農協、社協…多世代・多主体が一緒になって活動。その中でも、一番の先生は**ベテラン農家である地域の高齢者**。高齢者の役割づくりと伝統の継承が展開。

ひとこと

草刈りや収穫など参加できないこともあるが、仲間づくりに重きを置いて参加しています。農作物と一緒に、人と人の心のつながりを広げていけたらと思っています。(活動者:住民)

▼包括が学生たちにオレンジカフェに関する授業や実施後の振り返りを行う

#3 「オレンジカフェ よりみち」(埼玉県さいたま市)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり



いきさつ

福祉専門学校と地域包括支援センターが学生主体のオレンジカフェに取り組むため、連携することに。オレンジカフェに関して**学生たちと共に考える必要があった**。

やったこと・サポートしてもらったこと

包括が、認知症のある**高齢者との関わり**、**オレンジカフェの運営に関する授業**を実施。オレンジカフェ実施後は、**運営についての振り返りの時間**を設けている。

どうなった？

学生と高齢者たちの交流がスムーズになり、高齢者も交流を楽しんでいる。振り返りを重ねることにより、学生たちの**運営に対する姿勢がより前向き**に！

ひとこと

最初は学生を高齢者役とカフェスタッフ役に分けてシミュレーションしました。今も職員が2人会場に行きますが、学生さんが主体的に運営できるよう包括職員は運営を見守り、必要な時には助言をしたり一緒に考えたりしています。(包括職員)

*協議体・・・地域ニーズや資源の把握を行い、多様な関係者のネットワークを作り情報交換や働きかけを行う場。市町村が主体となり設置する。

▼社協が回覧板でおもちゃ・絵本を募集し、地域住民が寄贈

#10 「子育てサロン かりんの木」(長野県塩尻市)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり

いきさつ

まずは「できることから」と始めた子育てサロン。スタッフも活動者1人で、サロンにやってくる子どもたちみんなに、おもちゃや絵本が行き渡らない。



やったこと・サポートしてもらったこと

子育てサロン立ち上げ支援を行う市の社協職員に相談(活動者は元保育士で、社協を知っていた)。社協が回覧版で子育てサロンの紹介と「不要なおもちゃや絵本を譲ってほしい」と記載した。

どうなった？

回覧板を見た地域の方が、おもちゃや絵本を子育てサロンに寄贈!(社協への寄贈もあり)



ひとこと

社協職員の方は年齢が近いこともあり話しやすいです。立ち上げ当初、活動拠点探しから関与してもらい、他の子育てサロンの見学もさせてもらいました。(活動代表者)



▼市が使わなくなった備品などを無料で提供+足りないものはリサイクルショップで安く調達

#8 「平塚市豊田地区町内福祉村」(神奈川県平塚市)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり

いきさつ

活動場所は確保できたものの、最初は活動に必要な備品や道具も全くなかった。

やったこと・サポートしてもらったこと

たまたま市の他の分庁舎で使っていた備品を廃棄するという情報を受けた。福祉村事業の担当者が、立ち上げたばかりの福祉村で備品を使えるように調整。



どうなった？

机やロッカーなど、活動に必要な大型の備品を無料で確保できた! そのほか足りないものは、リサイクルショップをまわるなど工夫して安く調達した。



ひとこと

立ち上げ時のメンバーは私を含め5人。作業量も想定以上に多く、特に大きな備品の搬入などは骨が折れました。今思うと、もっと人手があった方がよかったかもしれませんね。(活動代表者)



▼複数団体の助成金 + お惣菜やパン・スープの販売

#7 「ほっとスペースさくらさくら」(東京都町田市)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり

いきさつ

団地の商店街の一角を確保！
でも、規定上「居抜き」では借りられず
改修費用として400万円以上の
支払いを抱えることに…

やったこと・サポートしてもらったこと

6種類の助成金の応募に挑戦。
慣れない申請書づくりに、夜な夜な取り組んだ！
活動の一環でお惣菜やパン・スープを販売。
週に6日営業することとし、1日の売り上げ目標を
設定した。

どうなった？

助成金は、5つの団体から得る
ことができた！
お惣菜やパン・スープは安定的に
売れるように。
売り上げ目標到達を目指しつつ、
拠点の運営を続けている。



ひとこと

地域や市民のための場所づくりを目指す小さな団体に、背負わされるものが大きいと感じます。自治体や建物管理者等から、場所を借りやすくするための現状の支援がより充実すると嬉しいです。(活動代表者等)

▼集まったメンバーに合わせて役割を生み出す 報酬分配の仕組みづくり

#4 「BABA lab さいたま工房」(埼玉県さいたま市)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり

いきさつ

おばあちゃんたちの特技や
目線を活かした「孫育て」商品。
増加する発注に、
生産体制が追い付かない！
スタッフを増員すべきだろうか…？

やったこと・サポートしてもらったこと

「まだ売り上げが増えていないのに、
スタッフを増やしてよいだらうか…？」
市の外郭団体の方から助言も得つつ、
思い切ってスタッフを増員。
メンバー1人ひとりの特技を生かすため、
商品ごとに工程を「作業メニュー表」に整理。



どうなった？

「作業メニュー表」により、
集まったメンバーにあわせて
役割を作るスタイルが確立！
メンバーも増え、
工房の運営も安定した。



ひとこと

ひとりあたりの賃金は少なくとも、多くの人に関わってもらい役割分担をすることで、作業以外の場面(販売やイベント等)でも助けられることができました。(活動代表者)

▼ スポンサーや参加者からの資金調達 + 市の補助金を活用

#9 「南三世代交流プラザ 三世代交流のつどい」(新潟県上越市)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり



いきさつ

三世代交流の拠点として
地域が土地提供し、市が建設したプラザ。
開設後入場者1万人達成など、
節目ごとにイベントを開催。
でも、イベントの開催には、
何かとお金がかかる。

やったこと・サポートしてもらったこと

イベントの開催にかかるお金の範囲で、
協力事業所を募る。出店料をもらうことも。
イベントごとに、
市の補助金(地域活動支援事業)も活用。

どうなった？

地域の「雁木通りまつり」は
毎年3,000人が訪れる
三世代交流の一大イベントに！
姉妹都市との連携も生まれ、
更なる広がりを見せている。

ひとこと

色々な仕掛けを考えながら、知恵を働かせると、多額のお金をかけなくても色々なことができるということがわかってきました。(活動代表者)

▼ 遊休農地でとれた農作物と加工品の販売 + 社協など複数の補助金を活用

#1 「おしゃべり農園」(栃木県那須烏山市)

#メンバー集め #知識・技術習得 #物品の確保 #活動資金づくり



いきさつ

地域の遊休農地を使った
農作物・花畑づくりの
開始が決定。
だけど、芋を作るにも花を育てるにも、
活動資金は手元にない状態。



やったこと・サポートしてもらったこと

自治会から助成をもらうことも考えたが、活動代表者と
社協で「何かしら実績を作るなかで、**地域に還元して**
いる様子が見えた方がよい」と協議。
はじめは活動代表者(前)が活動資金を立て替えることに。

どうなった？

初年度の実績づくりのあとは
少しずつだが**順調に増える売上と、**
社協など複数の補助金を活用。
地域に還元しつつ活動を継続。

ひとこと

直売所の方からの応援もありました。例えば細い大根は捨てようとしていたのですが、「切り干し大根にしたら」と助言を得て、売ることができました。今後は加工品づくりもやってみたいです。(活動代表者(前))

2. 活動者の方へ 活動立ち上げのヒント

その3

地域とつながろう！



活動をはじめたばかりだけど、地域の人たちに受け入れられるかな？
活動していることを地域に広めたい！どうやってPRしよう。

などなど・・・

▼手作り新聞・WEBサイトでのリアルタイムな活動情報の発信で地域の人たちに知ってもらおう

#4 「BABA lab さいたま工房」(埼玉県さいたま市)

情報発信 # 地域への働きかけ

いきさつ

立ち上げ当初、人が集まらず
定着しない状況が続く…
お金もなく広告にも頼れない…
まずは「コミュニティだ！」

やったこと・サポートしてもらったこと

地域に根差した拠点にしたいという思いから、
ご近所さんとのコミュニティづくりに着手。
手作り新聞の配布、WEBサイトづくり、写真撮影…
お金がない中でも、地道に活動状況の発信に注力した。

どうなった？

地道な発信が功を奏し、
地域の新聞で活動が紹介！
少しずつメンバーが増え、
にぎわいが生まれていった。



ひとこと

「いつ、何をやっているか」が分からなければ、人に来てもらうのは難しい。今は高齢者もWEBサイトを見る時代。活動当初からWEBサイトづくりには力を入れていました。(活動代表者)



▼地道な周知活動の積み重ねで、少しずつ地域からの理解を得る

#2 「みんなの居場所 ひなたぼっこ」(群馬県高崎市)

#情報発信 #地域への働きかけ

いきさつ

活動拠点として空き店舗を借りたものの、
「怪しい団体だ」
「税金の無駄遣いじゃないか」
とまで言われた。

やったこと・サポートしてもらったこと

オープン前に改築してくれた方が商工会に詳しく
「近隣の人に、工事と拠点開設のお知らせを
した方がよい」と助言を受ける。
社協支所職員から各地区の**民生委員の紹介**を受け、
活動周知をした。
開設後も、1人が1人を呼ぶ地道な活動を展開…

どうなった？

小学生から高齢者、
外国にルーツのある子ども
みんなが集う居場所に！
拠点の所有者からは「ずいぶん
いいところになったねえ」とも。



ひとこと

日本人も外国人も関係なく、「世の中捨てたもんじゃないね」「年をとっても希望がもてるね」という若い人が1人でも増えてくれたら嬉しいです。(活動代表者)

▼多くの人が住む団地という強みを生かして 手作り新聞の配布とSNSの活用

#7 「ほっとスペースさくらさくら」(東京都町田市)

#情報発信 #地域への働きかけ

いきさつ

もともと顔見知りだった
住民同士のお茶会から始まった活動。
誰もが安心して笑顔で
暮らし続けられる団地。
多世代が平等な立場でお互い様の
助け合いができる関係を築きたい。

やったこと・サポートしてもらったこと

団地に居住している1,400世帯に
手作り新聞の「さくらさくら通信」を配布。
情報発信と、仲間の募集を呼びかけている。
情報発信の手段として、**SNSも活用**。

どうなった？

少しずつメンバーが増加。
自分のペースで活動に参加できるので
他の活動との掛け持ちで
参加してくれる人が多い。
多彩な顔触れになっている！



ひとこと

近くの大学の学生に団地の空き室に住んでもらい、ちょっとした見守りや声掛けが必要な高齢者とつながり合う、人的・社会資本を生かしたコラボができていくといいなと思います。(活動代表者)

▼区、包括、町会、社協による「多数へのアプローチ+個人へのアプローチ」

#6 「美まもりやまカフェ」(東京都世田谷区)

#情報発信 #地域への働きかけ

いきさつ

地域内に、福祉作業所・保育園・地区会館の
入る複合施設が開所。

並行して、住民の求める地域の
居場所、「美まもりやまカフェ」が
誕生！！

やったこと・サポートしてもらったこと

区社協の地域福祉推進員や民生委員が口コミでお誘い、
社協のメルマガやWEBサイトで情報発信。

町会がチラシを回覧、WEBサイトに掲載してくれている
ところもある。

町会やサロン、医療機関、介護保険サービス事業者に1,300部
ほど発行している包括の広報紙(毎月)で紹介することも。包括
職員が対応している200名弱の方にも個別に案内。

どうなった？

高齢者、子育て世帯など、
2時間の開催時間に50名ほどが参加！
常連さんも多く

スタッフと美まもりやまカフェの
参加者が入り混じるような雰囲気。

ひとこと

地域から大切にされている施設内で、「地域の居場所」である美まもり
やまカフェも、住民に愛され、継続されていくと思います。(区社協職員)



▼社協が把握していた地域キーパーソンや他の活動団体との顔つなぎ

#1 「おしゃべり農園」(栃木県那須烏山市)

#情報発信 #地域への働きかけ

いきさつ

活動代表者(民生委員)中心に
活動を進めることに。

もともと住民同士のつながりが
強い地域ではあったが、

どんなメンバーに声を掛けよう？
どうやって進めよう？と考えていた。

やったこと・サポートしてもらったこと

社協が把握していた地域のキーパーソン。

(例えば…元民生委員、自治会で熱心にサロン活動をしてい
る方、自治会長)

活動代表者に、「この方にはお話を通しておく
いいですよ」と助言。

どうなった？

運営委員会には、自治会の班長を中心に、
はじめから15名もの方が参加。
その後のイベント開催時も、
社協が以前からつながりのあった
子育て支援団体等に声掛け。
にぎわい、世代交流が生まれている。

ひとこと

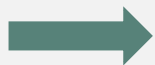
小さな集落なので、もともと人もあまりたくさんいません。たくさん
参加者が集まってくれたらいいな、と思っていました。(前活動代表者)



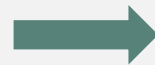
活動をイメージするための参考資料「拠点活動ことはじめシート」

このシートは、「地域で新たに活動をはじめたい」みなさんが、「考える、書く、話す・・・」のプロセスを通じて、活動イメージのお手伝いをするものです。

自分で考えてみる



考えたことを、書いてみる



仲間や支援者に話してみる

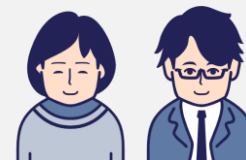


活動をイメージするための参考資料「拠点活動ことはじめシート」

活動名・プロジェクト名	<input type="text"/>
活動の目的・テーマ	<input type="text"/>
活動の内容	<input type="text"/>
活動の対象となる人	<input type="text"/>
拠点のイメージ	<p>活動する場所のイメージ図を描いてみましょう。難しければ、イメージに近い画像をネットで探してみるのも1つです。</p> <p>たとえば・・・ 広さは？どんな設備が必要？ どんな備品を置く？雰囲気は？</p> <input type="text"/>

17

シートが全て埋まらなくても、大丈夫。
埋まらなかった部分を仲間や支援者と話して、
イメージを具体的にいきましょう！



何度も繰り返してOK！



活動をイメージするための参考資料「拠点活動ことはじめシート」

活動名・プロジェクト名

活動の目的・テーマ

活動の内容

活動の対象となる人

拠点のイメージ

活動する場所のイメージ図を描いてみましょう。難しければ、イメージに近い画像をネットで探してみるのも1つです。

たとえば・・・
広さは？どんな設備が必要？
どんな備品を置く？雰囲気は？



3. 支援者の方へ 活動支援のヒント

活動者が困っていること

その1

活動拠点の確保

場所探し # 場所の確保



その2

活動を続けるための体制づくり

メンバー集め # 物品の確保
知識・技術習得 # 活動資金づくり



その3

地域とのつながり

情報発信 # 地域への働きかけ



これらに対し、例えば以下のような支援が考えられます

場所探し

- 地域の活用可能な拠点の情報を整理し、活動者や住民に発信する
- 庁舎や事務所に、使わなくなった倉庫などの「遊休スペース」がないか、またそれが活用可能か検討する

場所の確保

- 拠点の利用申請書類や補助金申請書類作成をサポートする
- 活動者や住民とともに、拠点所有者への趣旨説明や利用依頼をする

メンバー集め

- メンバー募集のお知らせをWEBや広報誌で支援する
- 人材バンクなどを紹介する

知識・技術習得

- 活動テーマに詳しい専門家を派遣する

物品の確保

- 補助金や助成金の情報を提供する
- 活動者ネットワークでの物品循環を促す

活動資金づくり

- 多様な資金確保の方法についての情報を提供する（寄付金、クラウドファンディング、補助金や助成金、収益化など）

情報発信

- 活動者の情報発信を支援する
- 活動者自らが発信し、住民や他の活動者、メディアとつながる場づくり

地域への働きかけ

- 地域キーパーソンや団体などに活動者の思いを伝える
- 住民や他の活動者との関係づくりを支援する

大切にしたいマインド

「活動者の思いを汲もう」「活動者の情報発信の機会をつくろう」「社会的信頼度の高さという強みを活かそう」

▼ご紹介した拠点活動一覧

QRコードを読み込む、もしくはアイコンをクリックすると、各活動の展開プロセスを紹介するページ(本調査研究事業報告書)にアクセスできます

#1 おしゃべり農園 (栃木県那須烏山市)	#2 みんなの居場所 ひなたぼっこ (群馬県高崎市)	#3 オレンジカフェ よりみち (埼玉県さいたま市)	#4 BABA lab さいたま工房 (埼玉県さいたま市)
#5 コミュニティカフェ「茶論」 (千葉県柏市)	#6 美まもりやまカフェ (東京都世田谷区)	#7 ほっとスペースさくらさくら (東京都町田市)	#8 平塚市豊田地区町内福祉村 (神奈川県平塚市)
#9 南三代交流プラザ 三代交流のつどい (新潟県上越市)	#10 子育てサロン かりんの木 (長野県塩尻市)	#11 まちの駅「ふじや」 (長野県箕輪町)	#12 遊休農地を活用した取り組み (長野県王滝村)

▼パンフレット検討・作成チーム

地域共生社会に向けた地域コミュニティづくりの拠点に関する調査研究事業検討委員会

氏名	所属
◎川越 雅弘	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 教授
桑原 静	合同会社ババラボ 代表
高瀬 顕功	大正大学社会共生学部公共政策学科 地域構想研究所 専任講師
手塚 翔太	川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 企画調整担当係長
目崎 智恵子	高崎市 第1層生活支援コーディネーター

本パンフレットに関するお問い合わせ
一般財団法人日本総合研究所

Address: 東京都千代田区二番町5-7 JPビル7F
Tel: 03-6261-6810 ※平日10時~17時
Web: <https://www.jri.or.jp/>



報告書はこちら→